

平成 26 年度予算の概要

(1) 予算編成方針について

1. 学校法人を取巻く経営環境の悪化は経営上の問題として深刻ですが、教学上の問題と表裏一体です。本学の強さ・よさを生かしながらも時代の要請に応えた大学教育の役割変化に教職員が確りと向き合い、大学組織全体で検討・解決していく必要があります。平成 26 年度予算編成にあたっては、①「将来構想のグランドデザインの検討」をもとにした組織目標に対し、全体最適の視点での優先順位を定め、それに応じた予算の傾斜配分を心がけてまいります。また、結果に対する検証を行える環境(PDCA サイクル)を整えてまいります。一方、②3年間の大規模改修工事の為短期的に崩れた収支バランスを改善し、引き続き健全な財政状態と経営成績を維持してまいります。
2. キャンパス再編上の予算
 - 1) 3年間の校舎等改修工事によりハード面は整備されたので、平成 26 年度はこれら施設設備の利用促進の為のソフト面での整備・充実をはかってまいります。また、本館建物の維持・保全に向けた計画的予算配分を行ってまいります。
 - 2) 大規模自然災害への備えを中心として防災面での予算繰入も行います。
3. 健全な財務体質の維持の為、引き続き次の数値管理を原則とします。
 - 1) 帰属収入の8割相当額を手元流動資金として確保します。
 - 2) 人件費比率(每期帰属収入に対する人件費の割合)を 50%台に留めます。
4. 教職員数(専任)
 - 1) 教員は退職・補充により平成 25 年度 51 名と同じ数とします。
 - 2) 職員は平成 25 年度 48 名に対し2名減の 46 名とします。
5. 入学者数
文学部及び大学院とも、ここ数年来の入学者実数に合わせます。
6. 収入増への取組み
学納金収入のみに頼るのではなく、中長期的な収入の多様化に向け、引き続き検討します。具体的には、次の事項を挙げます。
 - 1) 中長期的な募金計画の検討を始めます。将来構想のグランドデザインをはじめ大学のいろいろな取り組みや行動に対し、支援者より大学への寄付という形で評価を得られるように具体的に募金活動を企画・立案してまいります。
 - 2) 補助金獲得は増額を目指します。平成 25 年度はキャンパス再編改修工事に伴い、耐震、バリアフリー、ICT 活用推進事業等への補助金を予算以上に獲得出来ましたが、一方、教育再生、大学改革事業等への「競争的資金」の補助金獲得には至っていません。将来構想のグランドデザインへの取組みを進めながら、事務局(理事長室・財務課)が中心となり関係部署と良く連携しながら大学全体で補助金申請を行ってまいります。

7. 支出減への取組み

1) 人件費削減

- ① 職員人事制度導入(年功型給与体系を改め、個人の役割責任と実力に応じた仕組みを設け、職員業務力の向上を目指す)により、中長期的に固定費増の歯止めをかけてまいります。
- ② 教員人件費の削減にあたっては、本学が目指す教育、それを実現するカリキュラム、求められる教員像など、グランドデザイン策定委員会での今後の検討を踏まえつつ、教員組織や学科の適正人数や雇用形態などの多方面での検討が必要であり、平成 26 年度には一定の方向を打出してまいります。

2) 教育研究・管理経費削減

消費税増税により、教育研究・管理経費支出及び施設・設備関係支出額が平成 26 年 4 月より 3%、平成 27 年 10 月より 5% 増え、其々の年度で、30 百万円、50 百万円の支出増となります。教育研究や学生支援につながる経費の充実は大事ですが、適切な予算編成と執行を行い、全ての支出に対して妥当かどうか査定を行いながら節約に努めてまいります。

- ① 図書費を引き続き 40 百万円から 30 百万円に減額します。
- ② 高額になる情報関係、施設・設備関係支出は、不要不急のものや二重投資を避ける為に、厳格なる手順を踏み実施してまいります。
- ③ 全部署で業務委託費の中身を見直し、費用低減を行います。

8. 基本金組入れ

1号基本金(法面工事、本館防災等工事、図書・備品)、2号基本金(1号館建替えに備えた積立)、及び3号基本金(学生厚生基金等)を合わせ総額 275 百万円の組入れを見込んでいます。

(2) 消費収支予算

平成 26 年度消費収支予算は、帰属収入合計 24 億 4,207 万 4 千円、これに基本金組入額 2 億 624 万 9 千円を差し引いた消費収入の部合計は、22 億 3,582 万 5 千円になります。一方、消費支出の部合計は 23 億 7,816 万 9 千円となり、消費収支戻は 1 億 4,234 万 4 千円の支出超過となります。これに前年度繰越消費支出超過額 32 億 3,184 万 5 千円を加えた翌年度繰越支出超過額は、33 億 7,418 万 9 千円となります。

前年度予算との対比では、帰属収入は前年度比 1 億 1,585 万 9 千円の減少となります。平成 26 年度はキャンパス再編に関わる 3 年計画が前年度に終了し、基本金組入額は前年度比 5 億 1,198 万 6 千円減少し、消費収入の部合計は前年度比 3 億 9,612 万 7 千円の増加となります。一方、消費支出の部合計は、諸経費のコストダウンの取組み等により、前年度比 7,077 万 5 千円減少します。この結果、当年度消費支出超過額は、1 億 4,234 万 4 千円となります。

(3) 資金収支予算

平成26年度資金収支予算は、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計は49億4,785万9千円となり前年度比4億8,700万5千円の減少となります。これは前年度繰越支払資金が前年度比3億7,693万8千円減少したことによります。

これに対して、支出の部では、修繕費支出の減少等により、当該年度支出合計は28億7,772万7千円となります。この結果、次年度繰越支払資金は、20億7,013万2千円となります。

(財務担当理事 経塚 淳)